



独立行政法人 国立病院機構東徳島医療センター
 〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1
 TEL 088-672-1171 FAX 088-672-3809 URL <http://www.etokushima-mc.jp/> e-mail 515sy01@hosp.go.jp

12月号
 vol.125
 2015.12.1

スポーツは良い

外科医長 澤田 徹

この原稿は10月末に書いていますが、ラグビーW杯の決勝はニュージーランドとオーストラリアに決まりました。今大会の日本代表の活躍は、僕はラグビーのど素人ですが、それでも感動が十分伝わるほど、見ていて楽しい大会でした。そんなラグビーW杯が2019年に日本で行われます。2020年には東京オリンピックが開かれ、昔を遡れば2002年はサッカーのW杯が日本で行われました。様々な大規模な大会が、日本で直接観戦できる時代に生まれて、本当に幸運だなあと感じます。



そして、徳島でもプロスポーツを生観戦することができます。僕は徳島に戻ってきてから、徳島ヴォルティスの試合観戦を楽しみにしています。昔は四国にプロのスポーツチームが存在することは考えられませんでした。しかし、僕が県外にいた2005年に野球の四国アイランドリーグが設立されたと同時に、徳島ヴォルティスはJ2に参戦しました。そして、僕がスタジアムに行きたいと強く思うことになったのが、柿谷曜一郎選手の徳島加入の

ニュースを知ったときでした。柿谷選手はU-17W杯時代から、大変有名だったのですが、実際直接プレーをみると、実力通りのプレーに魅了されてしまいました。そのため、スタジアムに足を運ぶ機会が増えたせいか、柿谷選手退団後も、徳島ヴォルティスの応援を続けています。

徳島県外に勤務中はテレビで試合を見ていましたが、やはりスポーツは直接みるのが、楽しいと今年は再認識しています。スタジアムで応援すると、同じく応援する知らない方々と一緒に応援したり、意見を言ったり、叫んだりできる一体感は非常に楽しい時間です。また、応援する人が多ければ多いほど、楽しさは大きくなります（2009年に、鳴門で入場者数13000人で行われた四国ダービー（vs 愛媛FC）を観戦したときは、非常に盛り上がりました。）。



今年はJ1昇格プレーオフ圏内も難しく（2015年10月29日現在）、残念な試合も多いのですが、日曜日が近づくと、鳴門方面がつつい気になる今日この頃です。

「おまかせ！！感染予防塾」

『消毒薬』

今年も感染性胃腸炎が流行する季節となりました。感染性胃腸炎の症状に嘔吐や下痢がありますが、吐物や便には病原体が多く排出され感染源になるため、排泄物で汚染した場所や物は消毒が必要になります。



さて『消毒』と言うと、一般的に市販されている家庭用の消毒薬としてミルトン[®]やハイター[®]を思い浮かべると思います。これらは「次亜塩素酸ナトリウム」という種類の消毒薬で、とても身近な消毒薬ではありますが、使い方を誤るとまったく効果がないか、人体に悪影響を及ぼしてしまいます。今回は、次亜塩素酸ナトリウムを使用するにあたっての注意点についてお話ししたいと思います。

- ①次亜塩素酸ナトリウムが入っている容器はどの商品も不透明になっていると思いますが、これは日に当たると分解されて塩と水になってしまうからです。しかし、不透明の容器に入っている場合でも直射日光を浴びると、濃度が不安定になっていきます。取扱説明の通りに希釈しても必要な効果が得られない、ということになります。消毒薬は冷暗所に保管するようにしましょう。
- ②次亜塩素酸ナトリウムは商品によって原液濃度が異なりますが、どの商品も希釈して使用します。希釈した溶液は安定性が悪く、長時間濃度を保つことができません。希釈は使用直前に行うのが望ましいですが、もし希釈溶液を多く作ってしまった場合には24時間以内に使用しま

しょう。

- ③消毒薬は有機物があると消毒効果が弱まるので、吐物や排泄物を取り除いてから消毒しますが、吐物や排泄物を取り除く際には病原体が飛散することがあります。また、次亜塩素酸ナトリウムは塩素ガスが発生することがあります。吐物や排泄物の処理をする時には、これらの暴露を防止するために、よく換気しマスクを装着することが大切です。
- ④消毒薬は濃ければよいというものではありません。次亜塩素酸ナトリウムは字の如く「塩素」成分があり、消毒される物によっては腐食や錆の発生など製品を傷めることがあります。取扱説明には消毒できない物の記載がありますのでよく確認し、適切に希釈して使用しましょう。また、消毒後に水拭きなどで消毒薬の残留を取り除くと良いでしょう。
- ⑤次亜塩素酸ナトリウムはプールの水の消毒でも知られていますが、人の皮膚に使用できる濃度はかなり低いものです。ミルトン[®]では1万分の1、ハイター[®]（医療用）では6万分の1の希釈になります。これ以上の濃度では皮膚に刺激症状を起こすこともあります。消毒薬を使用する時には必ずゴム製やビニール製の手袋を装着しましょう。

本来、排泄物は血液や痰などの分泌物とともに「病原性の細菌やウイルスが潜んでいるかもしれない」と思って対処する必要があります。家庭においても、消毒薬を有効かつ適切に活用することで感染症予防ができればと思います。

(感染管理認定看護師／近藤 恵子)

職員募集

募集職種	看護アシスタント（非常勤）	薬剤師（期間職員）
勤務内容	看護師等の指示により、病棟等における業務 ※病棟に勤務 (患者介助、食事の配膳・下膳、病棟内のメッセンジャー業務、等)	調剤・製剤業務等
応募資格	不問	薬剤師免許
雇用期間	採用日～平成28年3月31日 (年度更新)	採用日～平成28年11月30日 (休業等代替職員のため変更あり)
勤務時間等	4週8休（週30～32時間勤務） 休日：勤務割による。 有給休暇あり	4週8休（1週38時間45分以内）。 休日：土・日・祝日 年末年始 有給休暇あり。 勤務時刻については要相談。
給与・手当	時間給：860円 通勤手当：実費（上限あり、マイカー通勤可） 賞与：年2回	基本月給額：220,800円 通勤手当：実費（上限あり、マイカー通勤可） 賞与：年2回
その他	院内保育所あり	院内保育所あり

応募方法等、詳細については下記までお問い合わせください。

※お問合せ先 独立行政法人国立病院機構東徳島医療センター 管理課庶務班長
〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1
電話 088-672-1171

どんぐり祭

さわやかな秋晴れの10月17日、「第16回どんぐり祭」が療育訓練棟内と周辺敷地内で開催されました。

療育訓練棟南側のテントでは、お好み焼き、フライドポテト、焼き芋屋さんが並び、療育訓練棟内では綿菓子、喫茶コーナー、おもちゃコーナー、れんげ工房では藍染めのTシャツ・ストール・スカーフなどが展示即売されました。ご家族、附属看護学校学生40名と鳴門教育大学学生3名のボランティア、病棟・療育指導室スタッフが模擬店の運営や重症児者病棟の患者様の参加の支援に当たり、大勢の患者様がどんぐり祭に参加することができました。

午後からは、フォークダンス研究会の方たちが療育訓練

棟で、フォークダンスを披露して下さり、賑やかに楽しく午後のひとときを過ごすことが出来ました。

そして何よりも、患者様の笑顔が輝いている事がどんぐり祭に関わる全ての方たちの心を温かく癒してくれました。どんぐり祭も早16回を迎え、時代と共に環境や状況が変化する中で、患者様との貴重な時間充実した楽しいひとときを過ごすことができるように、これからも創意工夫をしながら実施していきたいと思ひます。

ご協力いただきました、ご家族の皆様、鳴門教育大学学生ボランティアの皆様、看護学校学生ボランティアの皆様、病院職員の皆様、大変ありがとうございました。

(療育指導室／松浦みゆき)



患者さんの作品

当院で療養されている追詰孝博さんの作品を紹介させていただきます。

社会見学

追詰 孝博

私は十月二十八日に社会見学へ阿波おどり空港に行きました。その日は私と友達三人で行きました。空港に着き私はまず飛行機をバックに写真を撮りました。また、空港のターミナルをみてこんなふうになっているのだなあと思いました。それと、荷物は全部点検してからはこんでくれていました。私は、初めて空港に行ったので、空港の仕事は大変だなあと思いました。また、空港で働くスタッフはこんなふうになっているのかと思ひました。そして、一機の飛行機が阿波おどり空港へ帰ってくるのが見えました。私はもう一度空港に行きたいです。

どんぐり祭

追詰 孝博

今年のどんぐり祭は十月十七日の土曜日に行われた。各病棟に何人かの学生さんが来てくれて、両親が来ていない友達についてくれて、お祭りの会場に連れて行ってくれた。私もその中の一人であった。また、お母さんに連れて行ってもらっていた友達はとても嬉しそうでしたし、私もお母さんたちを見てみると、まるで子どものごころにかえっていたようだった。保育士さんと指導員さんたちはこの日のために遅くまで残って準備をしてくれた。保育士さん、指導員さん、いろいろとありがとうございました。十月十七日はとても楽しかったです。

● 看護学校便り ●

第35回学生祭を終えて

10月23日、第35回学生祭（東徳祭）を本年度も無事終えることができました。お忙しい中ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。また、ご協力いただきました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

本年度は「Appreciate～ありがとうで伝える幸せ～」をテーマとし、学生祭当日スムーズな運営ができるよう2年生を中心に準備を進めてきました。装飾では、日頃感謝をしている方に向けてのメッセージを書いていただき掲示したり、幸せをイメージしたハートをたくさん用いて飾り付けをすることで、いつも支えてくれている家族や友人・先生方、臨地実習で親身にご指導くださる看護師さん、私たち学生を受け入れてくださる患者さんに感謝の気持ちを伝える事が出来たと思います。

計画通りに物事が進まず悩むことも多々ありましたが、学生祭を終えたあと、たくさんの方々から「いい学生祭だったよ、ありがとう」と言ってもらえたことで、今まで頑張ってきた良かったと思ったと同時に、「ありがとう」の言葉の効果を改めて実感することができました。

学生祭を開催するにあたり準備を進めていく中で、情報共有が上手く出来ないなど至らないこともありましたが、学生祭を通して得た学びや、感謝の気持ちを素直に伝える事の大切さを今後の学生生活に活かしていきたいと思います。そして来年度も皆様に楽しんでいただける東徳祭となるよう今後も努力していきたいです。

（東徳島医療センター附属看護学校 学生祭実行委員長／廣野 有梨）



公開講座の風景
健康寿命を延ばすため
みんなで体操を
しました



作成した作品で
楽しんでくれたかな？



注文して頂いた
揚げたこ焼きをみんなで
協力して作成中

⊗ 「ばいばい👋メタボ!教室」 ⊗

開催：2016年1月24日(日)

★時間 10:00～12:00

★会場 藍住町保健センター 2F

★参加無料

糖尿病教室のごあんない



〔日時〕 2015年12月8日(火) 午前11時～午後2時

〔場所〕 第二会議室(二階)

〔内容〕 『検査のお話』

臨床検査技師

『クリスマス・お正月も怖くない! 血糖をゆっくり上げる食べ方のコツ～ご馳走編～』

管理栄養士

※試食会(400円/材料費込)